

第六十七回帝國議會
衆議院

倉庫業法案委員會會議錄(速記)第十二回

付託議案
昭和六年法律第四十號廢止法律案(重要産業ノ統制ニ關スル件)(森田福市君外一名提出)
酒造組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和十年三月二十四日(日曜日)午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岩本 武助君

理事中井 一夫君

板谷 順助君

森田 福市君

栗原彦三郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏書記官 大矢半次郎君

大藏書記官 松隈 秀雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酒造組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○岩本委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス

○中野委員 只今本會議ニ重要法案ガ上程

サレマスカラ暫時御休憩ヲ願ヒマス

○岩本委員長 デハ午後一時マデ休憩致シマス

午前十時四十分休憩

午後一時二十分開議

○岩本委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ始メ

マス、御承知ノ通り昨日既ニ酒造組合法中改正法律案ノ質問ハ打切ニナツテ居リマス、討論ニ移ルノデアリマスガ、此際御意見ノアル方ガアリマシタラ御發言ヲ許シマス

○板谷委員 私ハ本案ニ對シマシテハ、政府當局ガ酒造組合ノ爲ニ積極的ニ出來ルダケノ改善ヲ圖ラレタコトニ付キマシテハ、洵ニ同業ノ爲ニ非常ニ結構ナコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、唯此酒稅ノ中ノ燒酎ノ問題ニ付キマシテ、先般當局ノ聞

ニ質問致シマシタル通り、現在ノ情勢ガ全國的ニ見テ、或ハ獨占ノ弊ニ陥ッテ居ラヌカト云フコトヲ非常ニ杞憂ヲ懷イテ居ル者デアリマス、或ハ之ヲ無制限ニ許スト云フコトニナルナラバ、一面ニ於テ濫造ト云フ弊ガ起ルカモ知レマセヌガ、現在ノ情勢ニ於テハ出來ルダケ之ヲ緩和スル必要ガアラウ、サウ考ヘテ居ル、其意味合カラ致シマシテ希望ト致シマシテ、政府ハ燒酎製造業

者ニ對シ何等法規ノ示ス所ナキニ拘ラズ製造認可ニ制限ヲ加ヘ既存ノ業者ニ不當ノ利益ヲ獨占セシムルノ弊アリト認ム、政府ハ

宜シク社會一般ノ情勢ニ鑑ミ一定ノ基準ニ基キ、汎ク許可ヲ與フベシ、斯ウ云フ希望ヲ申述ベマシテ、委員長ガ本會議ニ於テ此希望ヲ申述ベラレシコトヲ要求致シマス

○中野委員 私ハ本法案ハ酒造組合法中ノ重要ナ缺陷ヲ補ヒ、尙ホ組合員ニ資金融通ノ途ヲ御開キ下サツテ、眞ニ時宜ニ適シ、實情ニ即シタ法案ナルガ故ニ、此點ニ於テハ本案ニ贊成ノ意ヲ表シ、反對スルノデアリマセヌ、非常ニ其勞ヲ多トスル者デアリマスガ、只今板谷サンノ御意見ニ對シマシテ、板谷サンハ主トシテ北海道ヲ基礎ニ、燒酎業者ニ對スル御意見ナリト存ジマス、

今ノ御意見ハ板谷サン一個ノ、板谷委員ノミノ御意見ト察セラレマス、大局カラ見マシテスナラバ需要供給ノ關係上斯業ヲ獎勵助長スル上ニ於キマシテ、或ハ時ニハ統制ノ必要モアラウト存ズルノデアリマス、若シ統制ガナイ状態ノ下ニ於キマシテハ、何レノ事業モ破壊サレルノデアリマス、併シ板谷

サンノ事情ヲ承リマスレバ、或ハ其地方トシテハ實際ニ即シタ御意見モアルト存ジマスカラ、敢テ私共板谷サンノ御意見ニハ反

對スルノデアリマセヌガ、其地方ノ事情ニ即シタ御意見ナリトシテ吾々モ之ヲ認メテ居ル次第デアリマス

○原委員 私モ本改正案ハ酒造業ノ改良發達ノ爲ニ極メテ適切ナル改正案ト考ヘマスカラ、原案ニ贊成ノ意ヲ表シマス、此改正案ニ依リマシテ、酒造組合ヲシテ商業組合又ハ工業組合ト同一ノ機能ヲ發揮セシメラレ

ルコトハ洵ニ斯業ノ爲ニ慶賀スベキコトダト考ヘマス、只今中野委員ノ御述ニナリマシタ如ク、當局ノ御配慮ヲ此機會ニ於テ感謝ヲ致シマス、尙ホソレニ付キマシテ、之ニ關聯致シマシテ、ドウカ政府當局ニ於カレマシテハ、現在ノ實情ニ鑑ミラレ、成ベク近キ將來ニ於テ是非トモ此酒造稅法ノ根本的ノ改正ヲ、先般希望ヲ申述ベテ置キマシタヤウナ項目ニ對シテセラレシコトヲ御願致シマス、原案ニ贊成シマス

○栗原委員 私モ本案ニ贊成致シマス

○板谷委員 私ノ申述ベマシタ希望意見ニ對シテ、中野委員カラ一地方ノ問題デアルガ如キ、或ハ私一個ノ意見デアルガ如キ御話ガアッタノデアリマスガ、私共ハサウ見テ

居リマセス、全國的ニ見テ所謂此業ガ獨占的ニ流レ、隨テ當業者ガ割合ニ暴利ヲ貪ッテ居ル、斯ウ云フ弊ノアルコトヲ認メテ居リマス、此場合一言其點ヲ補足シテ置キマス

○中井委員

私ハ最後ニ此法案ヲ決定セラレルニ當リマシテ、一言大藏當局ニ希望ヲ述ベテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ先般來同僚議員カラモ繰返シテ申サレタ問題デアリマスガ、阪神方面ニ於キマスル所ノ酒造業者ノ立場竝ニ、之ニ對スル保護助成等ニ關スル問題デアリマス、此度御提案ニナリマシタ所ノ酒造組合法中改正法律案ト云フモノハ、即チ其目的ノ一ツヲ達成セシメンガ爲ノモノデアリマシテ、酒造業界ニ於ケル所ノ年來ノ希望ヲ容レラレテ之ヲ法文化セントセラレルモノデアリマス、大藏當局ノ下情ヲ能ク御波取下サツタ其御態度ニ對シテハ感謝致ス者デアリマス、就

キマシテハ阪神沿線ニ於ケル所ノ酒造業者ノ問題ナノデアリマスガ、是ハ先般吾々委員ニ御配付ニナリマシタ所ノ、最近三年間ニ於ケル清酒査定高表ト云フモノニ依リマシテモ、我國稅務監督局ノ存在スル所七ツ、其各局ニ於ケル所ノ清酒査定高ノ合計ハ、昭和八年度ノ分ニ付キマシテハ四百萬石ニ上ルノデアリマス、而シテ其中デ兵庫縣ニ

於キマスル所ノ清酒ノ査定高ト云フモノハ五十四萬五千四百四十二石ニ上ッテ居リマシテ、我が日本全國ノ中デ兵庫縣ガ最高ヲ占メテ居リ、全酒造高ノ一割何分ト云フ大ナル數額ヲ占メテ居ルノデアリマス、隨テ之ニ對スル税金ト云フモノニ付キマシテモ固ヨリ他ノ縣ヨリハ特別ナ大キイ分量ヲ是等阪神地方ニ於テ負擔ヲ致シテ居ルト云フコトハ申スマデモゴザイマセス、就キマシテハ他ノ方面ニ於ケル所ノ是等ノ酒造業者——固ヨリ國家ノ財政ノ上ニ非常ナ貢獻ヲ爲シテ居ル所ノ酒造稅ヲ負擔致シテ居ル者ニ對シマシテハ、其税金ノ徵收等ニ付キマシテ、政府トシテモ格別ニ注意ヲセラルベキコトハ勿論デアリマスガ、殊ニ此我國酒造界ノ大宗デアリマス阪神沿線ニ於ケル所ノ酒造業者ニ對スル御態度ニ付キマシテハ、格別ノ考慮ヲ願ハヌケレバナラスト思フノデアリ

マス、固ヨリ政府ガ法律ニ依ッテ其職務ヲ執行セラレル上ニ於キマシテハ、誰彼ノ差別ハナイ譯デアリマス、又地方ノ區別ニ依ッテ之ヲ左右セラルベキモノデハゴザイマセスガ、其立場ノ重要ナル點ニ顧ミラレマシテ、私ハ格別ノ御配意ヲ希望致シテ置カナケレバナラスノデアリマス、即チ寬嚴其宜シキヲ得ラレントニ付テ、特ニ政府ノ御考慮ヲ煩

ハサナケレバナラスト思フノデアリマス、尙ホ昨年九月二十日ニ突發致シマシタ阪神地方ノ大風水害、之ニ依リマシテ、兵庫縣方面ニ於テハ相當ノ打撃ヲ是等ノ酒造業者ガ受ケテ居ルノデアリマス、之ニ付テモ、先般既ニ同僚議員ヨリ切實ナル希望ヲ大藏當局ニ申出テ居ラレマスルカラ、茲ニ繰返シテハ申上ゲマセスガ、最近所謂是等ノ酒造業者ノ櫛比致シテ居リマスル海岸方面ニ於キマスル、所謂大阪、神戸間ヲ相連絡スル所ノ阪神防波堤ノ大計畫ガ官民協同シテ企テラレツ、アルノデアリマス、此豫算ハ國費或ハ縣費、合セテ約二千萬圓ニモ達スル譯ナノデアリマスルガ、此問題ノ實現ガ愈々具體化シテ參ルト云フコトニナリマスルナラバ、自然大藏省ニ對シテモ、其國費ノ負擔、財源ノ問題等ニ付テ御相談ニ參ッテ、是非共其援助ヲ受ケナケレバナラストニ相成ルト思フノデアリマス、阪神沿線ニ於ケル所ノ年額五十萬石カラノ此造酒ニ對スル税金ト云フモノハ、實ニ巨大ナル價額ニ上ッテ居ルノデアリマス、此財源ヲ年々政府ニ差出シテ居ルト云フコトヲ考ヘラレマスルナラバ、廳テハ是等ノ地方ノ保護トナリ、延テハ是等ノ地方ノ非常ヲ發達ノ基トナリマス、阪神防波堤ノ計畫ノ如キハ、是ハ大藏省ト致

シマシテハ特ニ考慮ヲセラレテ、大藏省モ財源ノ許ス限リハ、其計畫ニ援助ヲ與ヘラルベキモノデアルト思フノデアリマス、而シテ此事ハ斷ジテ一地方ノ問題ニアラズシテ、實ニ國家的ナ問題デゴザイマス、私ハ此機會ニ於テ右様ノ計畫ガ目下官民ノ間ニ於テ、我國經濟ノ中心デアアル阪神ノ兩都市ノ間ニ於テ、著々計畫ヲ進メラレツ、アツテ、將ニ具體化セントシテ居ルト云フコトヲ申上ゲ、愈々是ガ具體化シテ政府ニ交渉ヲ始メラレルト云フコトニナリマスルナラバ、政府ニ於カレマシテハ此最モ必要デアリ、最モ適當ナル國家的ノ事業ニ對シテ、滿腔ノ援助ヲ與ヘラレントヲ切ニ御願ヲ致シテ置ク譯デアリマス、之ヲ以テ私ノ政府ニ對スル希望ヲ終了致シマス

○岩本委員長

外ニ御發議ガナイヤウデアリマスカラ、本案即チ酒造組合法中改正法律案ニ付キマシテ採決致シマス、本案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

○岩本委員長

全會一致ヲ以テ可決致シマシタ——引續イテ昭和六年法律第四十號廢止法律案ノ審議ヲ致ス管デアリマスガ、政府委員ノ都合ニ依リ出席ガアリマセヌカ

ハサナケレバナラスト思フノデアリマス、尙ホ昨年九月二十日ニ突發致シマシタ阪神地方ノ大風水害、之ニ依リマシテ、兵庫縣方面ニ於テハ相當ノ打撃ヲ是等ノ酒造業者ガ受ケテ居ルノデアリマス、之ニ付テモ、先般既ニ同僚議員ヨリ切實ナル希望ヲ大藏當局ニ申出テ居ラレマスルカラ、茲ニ繰返シテハ申上ゲマセスガ、最近所謂是等ノ酒造業者ノ櫛比致シテ居リマスル海岸方面ニ於キマスル、所謂大阪、神戸間ヲ相連絡スル所ノ阪神防波堤ノ大計畫ガ官民協同シテ企テラレツ、アルノデアリマス、此豫算ハ國費或ハ縣費、合セテ約二千萬圓ニモ達スル譯ナノデアリマスルガ、此問題ノ實現ガ愈々具體化シテ參ルト云フコトニナリマスルナラバ、自然大藏省ニ對シテモ、其國費ノ負擔、財源ノ問題等ニ付テ御相談ニ參ッテ、是非共其援助ヲ受ケナケレバナラストニ相成ルト思フノデアリマス、阪神沿線ニ於ケル所ノ年額五十萬石カラノ此造酒ニ對スル税金ト云フモノハ、實ニ巨大ナル價額ニ上ッテ居ルノデアリマス、此財源ヲ年々政府ニ差出シテ居ルト云フコトヲ考ヘラレマスルナラバ、廳テハ是等ノ地方ノ保護トナリ、延テハ是等ノ地方ノ非常ヲ發達ノ基トナリマス、阪神防波堤ノ計畫ノ如キハ、是ハ大藏省ト致

ラ、今日ハ此程度デ散會致シマス
午後一時四十分散會

昭和十年三月二十四日印刷

昭和十年三月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社